

道央都市圏都市交通調査協議会 第3回協議会・3回幹事会(合同開催)
議事概要

日時:令和7年7月28日(月)9時30分～11時30分
場所:北海道自治労会館5F 大ホール

《参考資料》

■ 国土交通省都市局都市計画課による説明(参考資料)

※配布資料をもとに令和6年度に札幌市をフィールドに実施した活動試行調査の分析や第5回道央都市圏パーソントリップ調査における留意点について説明があった。

《資料3》

■ 事務局による説明(資料3)

※配布資料をもとに調査の実施体制や補完調査の実施内容及び広報計画について報告を行ったほか、WEB調査システムの構築状況について委員と共有した。そのうえで以下についての議論がなされた。

■ 意見交換(資料3)

補完調査

○24時間交通量を用いての分析の必要性は理解するが、施策検討やアクティビティ・ベースド・シミュレーターの分析を考えた時にはピーク時間交通量での分析をすることが有効だと思うので、朝夕ピーク1時間の交通量ではどうなるかということ視野に準備を進めてほしい。

WEB調査システム

- 入力に時間がかかる印象だが、一時保存ボタンや注意書きを用いて、入力途中でやめる場合の取り扱いを調査対象者にわかる仕組みにすべき。
- 個人票の最初にいた場所が自宅の場合、世帯票から住所情報を飛ばせると良い。
- 個人票に掲載の内容でwebシステムに載っていないものがあったり、個人票で分かりやすかった問ごとの区切りがwebで崩れていたりするので見直すこと。
- 前後の回答欄で矛盾している箇所があり、回答の途中放棄を招くおそれがある一方で、ある程度の許容性は必要であるため、最低限矛盾は解消しつつもエディティングのこと考慮しながらバランスを見て改修していくとよい。
- 調査対象日以前にログインした場合の取り扱いを決めておいたほうが良い。事前に想像で回答する方を防ぐことも事前にシステム全体を見ていただくことも重要。調査日以前には何らかの警告を出してはいかがか。

WEB調査システム修正の方向性は座長預かりとし、修正後のシステムを各委員に展開することとなった。

以上